

医学研究実施のお知らせ

JCHO 埼玉メディカルセンター 乳腺外科（ブレストセンター）では以下の研究を実施しております。

研究対象となる方（または代理の方）でこの研究について詳しくお知りになりたい場合やこの研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、下記の【問い合わせ先】まで御連絡ください。

【研究課題名】「乳房再建術の安全性と予後に関する多施設後ろ向き検討」

（乳癌学会班研究）

【研究の概要】

（研究の目的）乳房再建術は整容性も考慮されるため、しばしば乳房手術術式（乳房切除術、皮膚温存乳房切除術、乳頭・乳輪温存乳房切除術）、再建術方法（自家組織再建、人工物再建）、手術アプローチの方法（直上切開、側方切開、傍乳輪切開）の選択に苦慮することがある。乳癌診療ガイドラインにおいても乳房皮膚の温存、乳頭・乳輪の温存に関しては弱く推奨するに留められており、局所再発リスク、合併症リスク、整容性など益と害を十分に考慮し実施することが望ましいとされ、今後のさらなる症例集積による手術手技の均てん化が望まれると記されている。また、乳房再建術の症例が増えてきたことや術後経過観察期間が経ってきたことにより、乳房再建術症例での局所再発症例も散見されるようになってきた。今回、我々は多施設共同・後ろ向き観察研究を行い、乳房再建術の安全性と予後を検討し、局所・遠隔再発に関連する因子の検討を行うこととした。

（研究のデザイン）岡山大学主管・多施設共同・後ろ向き観察研究（症例対照研究）

（研究期間）倫理審査委員会承認後～2025年12月31日

（研究対象者）2013年1月1日から2017年12月31日の間に乳癌と診断され、乳房再建術を施行した症例

（研究に利用する情報等）

年齢、術式、病理診断、バイオマーカー、画像所見等

【問い合わせ先（対応時間：平日 9:00～17:00）】

JCHO 埼玉メディカルセンター 乳腺外科

関 大仁

電話: 048-832-4951

※ご利用させて頂く情報等からは氏名、住所、電話番号など個人を特定できる情報は全て削除しております。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。